

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128

ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>

荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

第9回防災フォーラム

みんなの安心・安全フェスタ



参加費
無料

スタンプラリー

先着250名に景品プレゼント!

今、直下型地震が発生したら、 あなたならどうしますか？

開催日時：9月10日(日)午前10時～午後4時 会場：荻窪地域区民センター

講演会 13:00～14:00

講演テーマ

「新潟県中越大地震の
災害対応の教訓」

NPO法人防災サポートおぢや理事長 佐藤知巳氏



コンサート 14:15～15:45

日本フィルハーモニー
交響楽団
(弦楽四重奏)



実演

中学生レスキュー隊模範演技

展示

防災備品・災害時ガス復旧対策・
震災救護機材・災害時給水地点マップなど

体験

煙体験・初期消火訓練・AED使用訓練・
災害伝言ダイヤル・非常食試食体験など

物産販売

被災地エコたわし販売(岩手県大槌町)・
野菜/物産販売(新潟県小千谷市)など



主催：荻窪地域区民センター協議会／西荻地域区民センター協議会

「われからのイベント」講座

8月

- 3日 10日 17日 24日 31日 ハーモニィを楽しむ
ヴォイストレーニング
- 12日 15日 8月15日 終戦への道すじ
- 26日 27日 講演鑑賞会
- 27日 親子で学ぶ昆虫の世界

9月

- 10日 第9回防災フォーラム
みんなの安心・安全フェスタ
- 26日 広報紙「わたしのおぎくぼ」
10月・11月号発行

10月

- 1日 10日 本天沼集会所まつり
(会場：本天沼区民集会所)
- 5日 12日 19日 26日 楽しい朗読教室
- 6日 13日 ふれあいベビィヨガ
- 27日 地域懇談会

11月

- 11日 荻窪音楽祭 地域ふれあい
マチネコンサート
- 25日 駐日ニカラグア特命全権大使
講演会
- 28日 広報紙「わたしのおぎくぼ」
12月・1月号発行

12月以降

- 12月 荻窪寄席
(平成30年)
- 1月 30日 広報紙「わたしのおぎくぼ」
2月・3月号発行
- 2月 24日 25日 「アート展」

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先：事業企画部 ● 地域交流部 ● 総務部 ● CC部 ● 広報部 ● 広報部 ● 総務部

地名の歴史と由来／「高井戸」の地名

幸田有美子(杉並区立郷土博物館分館)

町名の変遷

現在、京王井の頭線「高井戸」駅一帯は、江戸時代の頃に、「上高井戸村」と「下高井戸村」と呼ばれ、更に現在の「松庵」の東側にあたる場所は、「中高井戸村」と呼ばれていました。

慶長15年(1610)、五街道のひとつである「甲州海道(のちに甲州道中)」が整備されたことで、街道沿いにあった「上・下高井戸村」には、各々に宿場が設置されて「上高井戸宿」・「下高井戸宿」と呼ばれるようになります(写真1参照)。



写真1 『五街道中細見記』一部 当館蔵
安政5年(1858)のもの。左下に、「下高井戸」・「上高井戸」の位置が記されている。

そして1670年代になると、「高井戸札野」の新田開発によって、「大宮前新田」・「松庵村」とともに、「中高井戸村」がひらかれます。また、この「中高井戸村」がひらかれた経緯について、『新編武蔵風土記稿』では、承応2年(1653)より始まった、多摩川の水を江戸まで引き入れる「玉川上水」(羽村(現羽村市)の取水堰から四ッ谷大木戸(現新宿区四谷)までの43kmにわたるもの)の掘削事業によるとも記されています。それは、この掘削箇所が、「上・下高井戸村」内の民家屋敷内にも及んだため、土地を失った村民たちは、代地としてあらたにひらいた土地を「中高井戸新田」と唱え、後に「中高井戸村」と呼ぶようになったといいます(註1)。こうした経緯を経て、村名に「高井戸」とある村は、三か村となりました。

そして、明治22年(1889)におこなわれた町村制施行によって、「上・下・中高井戸」と、「久我山」・「大宮前新田」・「松庵」の各村が統合されて「高井戸村」となりました。「高井戸」の名が村名として採用された理由は、近郊にひろく知られていたためといえます。

時を経て昭和44年(1969)の住居表示実施により、もとの「上高井戸村」あたりは「高井戸東」・「高井戸西」・「上高井戸」といい、「下高井戸村」あたりは「下高井戸」・「浜田山」、そして「中高井戸村」あたりは「松庵」という町名となり、現在に至っています。

「高井戸」の由来

「高井戸」の地名由来については、諸説あり、その一つに『武蔵名勝図会』(文政3年(1820))によるものがあります。それは、小名「堂の下」周辺にあった辻堂の傍に、かつて清水があり、そこが小高い場所であったため「高井戸」と呼ばれるようになったという説です。しかし、本書の編纂当時、既にこの清水は、枯渇してその場所も不明となっていました。本書では、天正期(1573~92)以前までそう呼ばれていたのではないかと記されています。

最後に、もう一つの由来を紹介します。それは、本山派修験道「本覚院」(下高井戸4丁目)にあった「不動堂」が、「高井堂」と呼ばれていたことが、由来となった

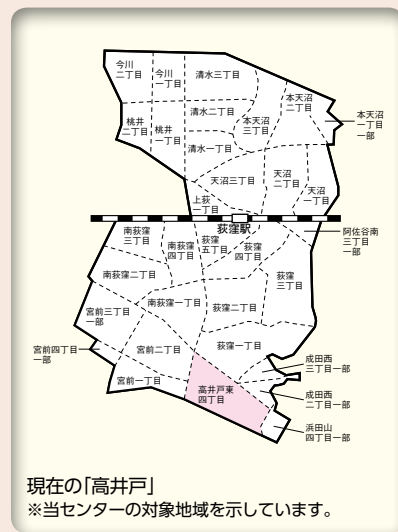


写真2 宗源寺境内にある「不動堂」 筆者撮影

という説です。残念ながらこの「本覚院」は、明治5年(1872)に廃寺となり現存していません。しかし、明治44年(1911)に「不動堂」は、付近にある叡昌山「宗源寺」(下高井戸4丁目2-3)の境内に移され、現在もその姿をみることができます(写真2参照)。

(註1)
村を開いた頃の年代については未詳とあります。

主要参考文献
『文化シリーズ19杉並の地名』(昭和53・杉並区教育委員会)『文化財シリーズ37杉並の通称地名』(昭和53・杉並区教育委員会)『特別展甲州道中へのいざない』(平成25・杉並区郷土博物館)



現在の「高井戸」
※当センターの対象地域を示しています。

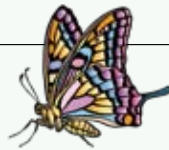
講座紹介

親子で学ぶ昆虫の世界

昨年も好評を博した講座の続編です。今回はチョウの生態について、じっくり学習します。講師は多摩動物公園・昆虫飼育係の佐々木愛子さん。お父さんの方が夢中になりそうですね。

★日 時:8月27日(日)
午後1時30分～3時30分

★場 所:荻窪地域区民センター 第4・5集会室



講座報告

ウズベキスタン大使講演

●5月27日(土) ●荻窪地域区民センター 第1・2集会室

シルクロードのオアシスといわれる国、ウズベキスタン。今日に至るまでの様々な歴史や温厚でまじめ、他人に親切で親日的な人々についてのお話、参加者の多くの方が、是非行ってみたいとの感想をお持ちになりました。



講座報告

芭蕉の紀行文を鑑賞する

「旅に病んで夢は枯野をかけ廻る」。松尾芭蕉は生涯を旅に生きた詩人でした。残された紀行文は5篇—「野ざらし紀行」「鹿島紀行」「笈の小文」「更科紀行」そして「奥の細道」。4回シリーズの講座は、前半2回で「更科紀行」までの4紀行文を、後半の2回で「奥の細道」を、それぞれ行く先々で詠まれた俳句も含めて、じっくりと鑑賞しました。講師は雑誌「俳句界」編集長の林誠司氏。「奥の細道」の全行程を歩き通したという芭蕉通。講義は、かしまらず、ユーモアと持論も散りばめながら、和気あいあいのうちに進められました。

●6月8・15・22・29日(木)

●荻窪地域区民センター 第1・2集会室



イベント報告 真剣に、笑顔で「レクリエーションスポーツ」

●6月11日(日) ●荻窪地域区民センター 体育室

「レクリエーションスポーツを楽しみませんか」を今年も開催しました。杉並区障害者団体連合会との協働事業で、障害の有無や年齢などに関係なく、みんなで楽しみ交流していただくイベントです。ダーツ、吹き矢、輪投げの3種目を各協力団体と用意しました。

6月11日(日) 10時～12時、区民センターの体育室。当日は梅雨時にもかかわらず晴天に恵まれ、54

名の区民の方々が参加されました。3種目全部をまわる人、1つに集中する人。楽しみ方は皆それぞれですが、競技のように真剣な表情で的を狙い、得点がどうあれ、遊びのように笑顔があふれました。「楽しい時間を過ごして満足」との声を頂戴しました。

毎年6月第2日曜日に開催しています。来年もどうぞお越しください。



講座のご案内

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
8月15日 —終戦への道すじ	原爆投下、そしてあやや本土決戦……8月15日に終戦を迎えるまでの、息づまる紆余曲折を再点検します。／山田 朗(明治大学文学部教授)	8月12日(土) 午後1時30分～3時30分	50名	200円	7月30日(日)
親子で学ぶ 昆虫の世界	昨年も好評を博した講座の続編です。今回はチョウの生態について、じっくり学習します。一枚の往復葉書で親子の申し込み可／佐々木愛子(多摩動物公園昆虫飼育係)	8月27日(日) 午後1時30分～3時30分	50名	200円	8月12日(日)
ふれあいベビーヨガ	対象は生後4カ月から1才までの乳幼児。わらべ歌や手遊び歌で母子の交流を楽しみながらヨガのポーズを学びます。／大坪三保子(たらちね助産院院長)	10月6日・13日 各金曜日 午前10時～12時	母親と子ども 15組	200円	9月24日(日)
楽しい朗読教室	演劇のように登場人物の台詞を演じ分ける、ドラマティックな朗読を初歩から学びます。／岡 攝子	10月5日・12日・19日・26日 各木曜日 午後1時30分～3時30分	20名	200円	9月24日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④性別 ⑤年齢 ⑥電話番号を明記のうえ 〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

郷土博物館分館企画展・講演会 問い合わせ: ☎5347-9801

分館10周年記念展示(西棟2階)

記憶を紡ぐ 天沼弁天池があった頃

郷土博物館分館は、天沼弁天池公園とともに開館し、このたび10周年を迎えます。当展示では、天沼弁天池や公園となるまでの変遷を紹介します。

今回は天沼弁天池のあった頃の情報を充実させるために、区民の皆さまから、思い出や写真など募集し、随時公開します。当時の情報をお持ちの方は、事前連絡の上、展示期間内にぜひご来館ください。

【開催期間】 4月29日(土・祝)～8月27日(日)

【展示替え】 展示期間中の季節感に合わせ、石山太柏の風景画を展示いたします。

6月6日(火)～8月6日(日)は第1・2期の絵画をパネル化したものを展示いたします。

第3期は8月8日(火)から展示終了日までとなります。

【展示解説】 8月20日(日)午後2時～3時

共通

- 場 所: 杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-32-1天沼弁天池公園内)
- 開館時間: 午前9時～午後5時
- 休 館 日: 毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
- 観 覧 料: 無料
- 問 合 せ: 電話03-5347-9801

分館10周年記念パネル展示(西棟1階)

区民参加型展示の10年

郷土博物館分館は平成19(2007)年4月に開館しました。

そして、開館以来「区民とともに創る区民のための博物館」を目指し区民のみなさんと一緒に活動をおこなってきました。

10年の節目を迎えた今年、その記念展示として、いままで分館で開催してきた「区民参加型展示」をパネルで振り返ります。

【開催期間】 5月27日(土)～10月29日(日)

講演会(西棟1階)

学童集団疎開と家族の絆

講師に迎える熊谷美昭氏所蔵の疎開当時に家族間で交わされた手紙や日記などから、家族の絆を中心に当時の杉並の様子なども紹介します。

【開催期間】 8月6日(日)午前10時～12時

【開催場所】 郷土博物館分館 西棟1階展示室

【講 師】 熊谷美昭氏

* 対象: 小学校高学年以上

* 定員: 先着40名、当日9時30分より会場にて整理券を配布します。

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の 日程

8月29日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室

9月26日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室

※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。

*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。
FAX番号: 3398-9128